取扱説明書 保管用

直管LED埋込形照明器具

（天井埋込み専用・一般屋内用・アクリルカバー付）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やお手入れのしかたなど、ご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品　名	光源ユニット(ランプ)	定格電圧	周波数	消費電力	入力電流
YLD-9013-N	FLI12-PA18D HO(昼白色)×2灯	AC100V/200V ±6%	50/60Hz	37W	0.36/0.18A
YLD-9013-L	FLI12-WA18D HO(電球色)×2灯				

※１回路当たりの最大接続台数は16台(200Ｖ時:33台)までです。
（定格15Ａの配線器具をご使用の時）

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書の中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書の中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

⚠ 警告

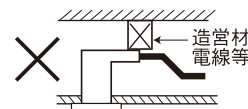
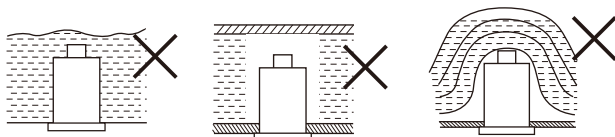
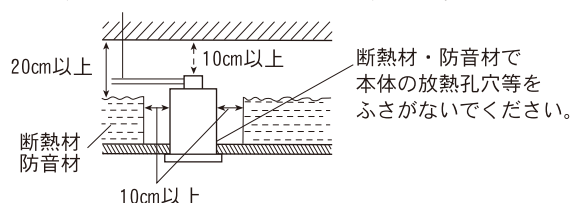
❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

❗ 端子台に差し込むケーブルは必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 器具の取付部以外の外郭（可動範囲を含む）が、天井内の造営物や空調ダクトなどの設備または屋内配線の電源ケーブルに触れないように施工してください。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

造営材
電線等

⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室などの湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⊘ 天井埋め込み専用です。壁面など天井以外の場所や指定以外の傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。

住宅の断熱施工天井には使用できません。
★ブローイング工法・マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。

ー住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法ー

⊘ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠ 注意

❗ 必ず定格電圧で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度５℃から35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火の原因となることがあります。

⊘ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や、調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

⚠ 警告

必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
　そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠ 注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で８～１０年後には、外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度３０℃、年間３０００時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による。）

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事がございます。予めご了承ください。

●ラジオなどの音響機器の近くで点灯すると雑音が入ることがあります。（雑音が入るときはランプから離してご使用ください。）
●赤外線リモコンを最小したテレビなどの近くで点灯すると、リモコンが誤作動することがあります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

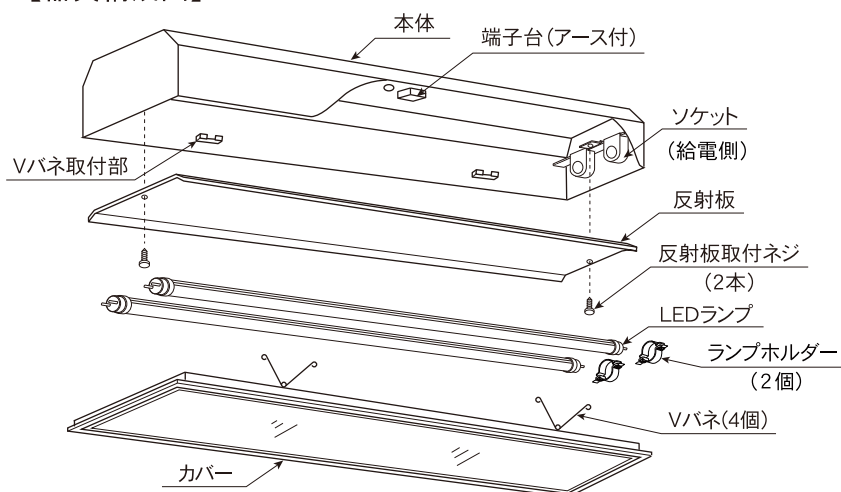
カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

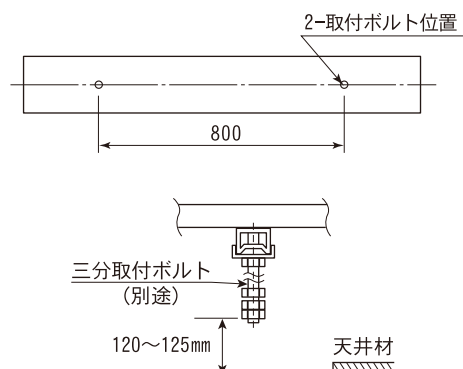
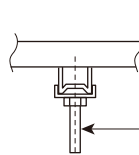
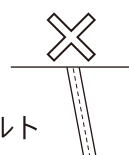
点灯中や消灯直後の電球、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

各部の名称

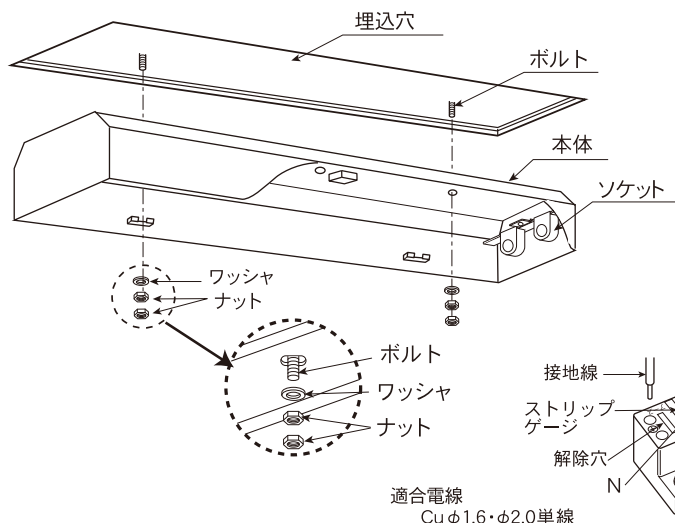
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】

取り付け場所の確認

⚠ 注意

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1．天井切穴孔寸法および三分取付ボルト位置を確認してください。
2．取付ボルトはレースウエイ等を使用し、必ず垂直に降ろしてください。
　※傾斜したボルトはボルト受け金具に無理な力が加わり、器具変形の原因となります。

3．事前に取付ボルトの長さを左図に従って調節してください。
　天井面からボルトの先端まで120～125㎜です。

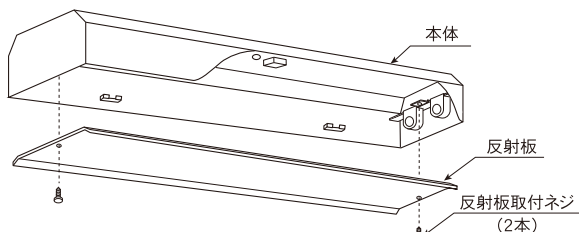
取り付け方　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

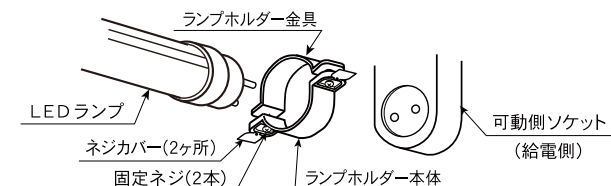
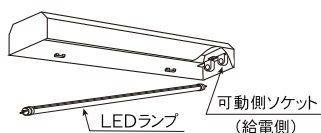
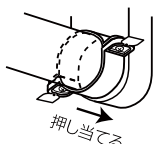
⚠注意 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 本体を取り付けます。
①電源線を本体の電源穴に通します。
②三分取付ボルトに本体を通したあと、
　ワッシャー・Wナット(別途)で仮止めします。
③ナットを均等に締めて固定します。その際、
　本体が水平に保つように調整してください。

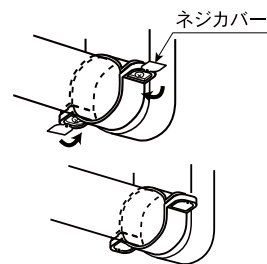
2. 電源線を接続します。
①電源線を電源用端子台のゲージ(12㎜)に合わせて芯線を剥きます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
　※電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバーの先で解除ボタンを真っ直ぐ押すとはずれます。
③アース線を差し込み穴に差し込みます。

⚠警告 ❗ この器具にはＤ種(第３種)接地工事を行ってください。(AC100Ｖの場合は除く)
★アースが不完全な場合は火災や放電事故の原因となります。

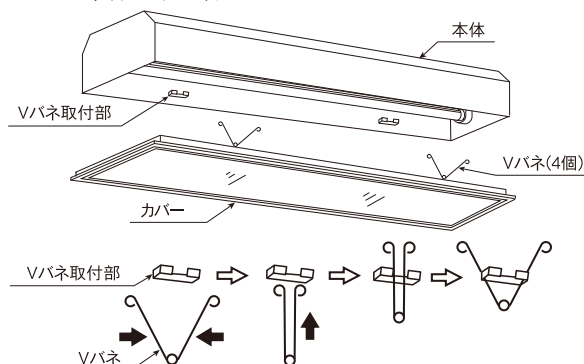
❗ 端子台に差し込むケーブルは、必ずＷＦφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

3. 反射板をセットします。
反射板取付ネジで、反射板を反射板取付金具に確実に締め付け、固定してください。

4. ＬＥＤランプをセットします。
●このランプには照射方向がございます
　照射方向が下を向くようにランプを取付けてください。

①ランプホルダーを直管型ＬＥＤランプに挿入してください。この場合、可動側のソケットに対応するＬＥＤランプの口金にはめ込んでください。

②ＬＥＤランプをソケットに取付けてください。
③ランプホルダーをソケットに押し当てて密着させ、ランプホルダーとＬＥＤランプがずれない様に、固定ネジを締めてください。

⚠注意 ❗ 固定ネジを締め付けすぎないでください。
★ＬＥＤランプが破損する場合があります。

④ＬＥＤランプが固定されたことを確認してください。
⑤ネジカバーで固定ネジにフタをしてください。
⑥ホルダーがＬＥＤランプにしっかりと固定されて、ゆるみの無いことを確認し、ランプが取り外せないことを確認してください。

◆ＬＥＤの光源寿命について
●ＬＥＤの光源寿命(※)は、40,000時間です。
　(照明器具の寿命とは異なります。)
　※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70％に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
● この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。

⚠注意 ❗ ＬＥＤランプは乱暴に扱わないでください。
★ＬＥＤランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

5. カバーをセットします。
カバーのＶバネをすぼめてＶバネ取付部に差し込み、カバーを本体に取り付けてください。

スイッチ操作

壁スイッチ(別途施工)にて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて

⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

●ランプのお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください
★不適合なランプを使用すると不点灯や点灯不良(チラつきや立ち消えなど)の原因となります。また、安定器の異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

⚠ **お願い**
・ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
・バラツキがあるため、同一品名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がございます。ご了承ください。

◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**(器具本体のラベルでご確認ください。)、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。